

加賀ななえ

市政ニュース

25歳



Vol.5



発行・ななえ会 富士見市鶴瀬東 2-16-23レフィナード102 080-4051-7711

<http://www.nanae.site>

富士見市議会9月定例会 ～注目内容をピックアップ～

台風9号の水害を受け「災害見舞金の見直し決議」が全会一致で可決

8月22日の台風9号によって山室、みずほ台地域を中心に床上、床下浸水の被害がありました。市内で床上浸水にあわれた方は災害見舞金支給条例の対象となり、現状では2万円が支給されることとなっています。

しかし、近隣の自治体の状況（ふじみ野市4万円、三芳町5万円）と比べると富士見市の見舞金は少額のため、見舞金を近隣市町村並みに引き上げるよう、全議員が市に対して申し入れを行いました。これによって、市は12月の議会までに災害見舞金について見直すことが求められます。

平成27年度決算をすべて認定

9月議会では、平成27年度の予算の決算を行いました。市長は議会に対して1年間の予算の歳出歳入をどう執行したかを説明し、議員は予算が適切に使われたのかをチェックした上で認定、不認定を出します。今回9月議会では賛成多数で平成27年度の決算が認定されました。



904号線の拡幅は年度内に完成！鶴瀬西地域、路線バスは継続検討

鶴瀬西・上沢地域では、高齢者の方が多いにもかかわらず、バスや公共交通の手段がないことから、路線バスの行路変更、あるいは、予約型の運行形態をとるバスやタクシーなどのデマンド型交通の導入が求められています。

しかし、路線バスの行路変更にあたっては、つるせ台小学校から上沢整形外科へ抜ける市道第904号線の道幅が狭いため、バスの通行が出来ないことが課題となっていました。

904号線については拡幅の工事を行っており、このたび年度内に工事が完了する目処がついたため、今回の市議会では早速鶴瀬西・上沢地域への地域の足の確保がなされるよう市に提案を行いました。今後は、自治体・乗合バスなどの事業者・地域の住民で構成される地域公共交通会議で継続して検討がなされます。



9月議会 加賀ななえの一般質問

一般質問① 若者がより学びやすい環境を！入学準備金貸し付け制度の拡充を。

加賀  2007年に入学準備金制度が廃止された議論の経過は。

担当部長  国の教育ローンが導入されたため廃止。より利用しやすい国の教育ローンの利子補給制度に代わっている。現行の利子補給制度を拡充することで、より学びやすい環境の整備に努めたい。

加賀  現行の利子補給制度では国の教育ローンをかりたいうち、70万円までの利子を補給。限度額70万円の拡大は検討しているのか。

担当部長  限度額の引き上げを検討。どの程度引き上げるかは検討中。

ポイント！

入学準備金とは、入学金を含めた、高校や大学、専門学校などの入学時に必要な費用を指します。

入学準備に必要なお金がない！となったときに、一般的には教育ローンを使って支払います。代表的なものに日本政策金融公庫が提供している国の教育ローンというものがあり、名前の通り教育にだけ使用できるローンです。金利は年率1.9%の設定となっています。

国の教育ローンのほかに自治体によっては、入学準備金制度という制度をもうけています。これは入学準備金に困ったときに自治体みずからが無利子で保護者または学生に貸し付けを行う制度です。国の教育ローン（日本政策金融公庫）との違いは基本的に無利子で、自治体の制度によっては返済が卒業後でもよい、ということが挙げられます。

富士見市では2007年に入学準備金制度が国の教育ローンの利子を補給する利子補給制度に移行しました。

今回の一般質問では、デメリットなく旧制度から現行制度に移行できていることが確認できたことと、現行の利子補給制度の拡充を前向きに検討しているとの答弁をいただけたことがポイントです。

一般質問② 地域の足の確保を！早急にデマンド型交通の試験運転実施を要望

加賀  市道第904号線（つるせ台小学校から上沢整形外科に通じる道）開通後循環バスの路線変更は。

担当部長  路線変更は地域公共交通会議で検討。

加賀  特に高齢化の進む地域には早急に公共交通を導入すべきと考えるが地域公共交通会議の進捗状況は。

担当部長  アンケートを集計し分析する段階。

加賀  アンケート結果を活かすためにも早急にデマンド型交通の試験運転を。

担当部長  検討する。

ポイント！

デマンド型交通とは？

デマンドとは要求という意味で、要求に対してできるだけこたえる種類の交通をさします。予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一つで、決まった時刻、決まった路線のバスとは違い、必要な時間、必要な場所に柔軟に対応する事ができるので、人口が低い密度の地域やバスを走らせることのできないエリアの需要において有効とされています。

このデマンド型交通は、近隣の三芳町、志木市、またふじみ野市ではすでに導入されています。

富士見市では検討がなされていますが、実施にはいたっていません。デマンド型交通についてのアンケート結果の集計は完了していますので、早急に試験運転等の行動がなされるよう、地域公共交通会議の進捗を見守る必要があります。

**この他に、災害時の情報提供ツールについて質問し、
テレビのデータ放送による情報提供について提案を行いました。**



● プロフィール

富士見市議会議員 加賀ななえです。
現在25歳、鶴瀬東在住。
明治大学政治経済学部を卒業。
卒業後は針ヶ谷保育園、センター21障がい者
自立支援施設ひまわりに勤務し、
2016年市議会議員選に25歳で初当選。

■ ひとことコラム

はじめての一般質問が無事終わりました！
富士見市議会の様子は市のHPから動画で
みることができますので、ぜひご覧ください。

富士見市議会スマート中継

